

発行所：かつもとメンタルクリニック

〒543-0056 大阪市天王寺区堀越町10-13天王寺まつむらビル2F

TEL 06-6774-0525

編集・発行人：勝元 榮一

クリニックの理念
思いやりのある暖かで信頼される質の高い医療を提供いたします

<コンプライアンスとアドヒアランスについて>

こんにちは。8月下旬になっても暑い日が続いていますが、皆さん如何お過ごしでしょうか？今月号は「コンプライアンス」と「アドヒアランス」という言葉についてお話してみたいと思います。

1. コンプライアンスとアドヒアランス (図1)

1) コンプライアンスとは・・・

コンプライアンス (compliance) とは「(命令・要求などに) 従うこと」という意味を持ち、医師の指示通り治療を受ける(服薬する)ということになります。患者側からみれば「受身的」で、「病気のことはお医者様のいうことを聞いておけばよい」という昔ながらの一方通行的な治療関係(図1-1)といえます。さらに治療を継続できない(=コンプライアンスが悪い)のは患者さんに全て問題があるという一方的な見方になります。

2) アドヒアランスとは・・・

最近ではコンプライアンスという考え方からアドヒアランスという考え方と変わりつつあります。このアドヒアランスという言葉は1990年代のHIV患者の抗エイズ薬の治療において言われるようになりました。アドヒアランス (adherence) は辞書によると「密着, 執着, 固執」といった意味ですが、医療におけるアドヒアランスとは『患者自身が病気を受容し、治療方針の決定に参加して、積極的に治療に取り組もうとする能動的な態度』をいいます。患者は治療の意義を理解して、主体的に治療方針を選択します。医療者は患者の理解や選択のために専門知識を提供し、治療継続のために援助していきます。そこには病気や症状について医療者と患者が対等な立場で話し合い、治療方針を決定していくという双方向的な治療関係(図1-2)が成立し、これまでのコンプライアンスとは全く異なる考え方です。最近では精神科領域でも『アドヒアランス』という言葉をよく使うようになってきました。私が今春まで勤務していた大学病院で研修医に『アドヒアランスって言葉知ってますか?』と尋ねると、殆どの研修医はコンプライアンスは知っていますが、アドヒアランスという言葉は知りませんでした。学生時代の授業や卒業研修での内科や外科などでは、まだあまり言われていない言葉なのかな?って思います。

2. なぜ『アドヒアランス』が大切なのか?

統合失調症の治療において、コンプライアンスの時代から治療の継続は重要な問題の一つでした。服薬アドヒアランスの低下は、症状の悪化、再燃、再入院、疾患の長期化、医療費の高額化などと密接な関連があるとされています。しかし医療者が情報提供し、患者自身が積極的に疾患を理解し、自分の治療方針

(裏面へ続く)

図1. コンプライアンスとアドヒアランス

1) コンプライアンス



2) アドヒアランス

